

落選から一年・生まれ育った地で新たな挑戦

令和6年10月27日の衆議院総選挙で落選してから、一年が経過しました。

落選の翌日、私は早朝から豊橋駅に立ち、皆さまにご挨拶をさせていただきました。

正直、その時は、落選の悔しさや小選挙区で戦うことができずに負けた無力感などから、頭の整理はできていませんでした。が、ただただ、この生まれ育ったこの地のために、日本のために、また再び力を尽くしたいという一心からの行動だったと思います。

その後、この一年間、朝のご挨拶を続けながら、地域のイベントに参加させていただいたり、ミニ集会を重ねるなどして、豊橋・田原の地を歩き続けてきました。

「ここ数年、豊橋・田原はおいでいかれてる。」
地元を回っているとよく耳にする言葉です。この何となく漂う停滞感や閉塞感を多くの方が感じられています。

今の日本は、少子高齢化や物価高、外交・安全保障など、多くの課題に直面しています。厳しい状況の中でも、勝機を見い

出し、このピンチをチャンスに変えることが重要です。

そのためには、この豊橋・田原の持つ潜在的な力を掘り起こし、この地の発展に繋げなければなりません。しかも、変化を恐れずスピード感を持って。

この地には、農業、ものづくり、文化、観光、エネルギー、スポーツなど大きな可能性を秘めた分野が多くあります。

日本の中心にあるこの地域の発展は日本全体の成長に繋がるものと確信しています。

私には、F1レーサーとして、世界で戦ってきた経験があります。日本の良さを誰よりも実感するとともに、日本が世界で生き抜く術や外国との交渉の仕方を知っています。

全世界にアンテナをはり、政治・経済・社会・価値観・技術などの大きな動きなど世界の潮流をいち早くキャッチすることができます。

私の持つこのような国際感覚は、この地元豊橋・田原の発展をより大きな目線で捉え、国内にとどまらず世界の大きな流れの中に、正しくのせることができます。これにより、この地に

ただよう停滞感・閉塞感を打破できるものと考えます。

この1年間、地元を回り、「物価高で生活が苦しい」「子どもを育てるのが大変」「農業の担い手が足りない」「地元企業の後継者がいない」など、皆様が直面する様々な課題をお聞かせいただきました。一つ一つの課題に取り組みさせていただくとともに、このような率直な声をお聞かせいただける皆さまとの関係をこれから大事にしていきたいです。

透明性と説明責任を徹底し、皆さんに信頼されるクリーンな政治を取り戻します。
私にとって、「落選」は終わりではなく、新たなスタートとなりました。

皆さんの生命・財産を守り、日本を世界から尊敬される国にするために、もう一度国政の場で働くことを目指して、全力で走り続けます。

どうか、これからも変わらぬご指導とご支援を、心よりお願い申し上げます。
前衆議院議員

山本左近

山本左近の活動はこちら



H.P. YouTube Twitter Facebook Instagram

不屈の
三河武士

《やまと・さこん》
愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧。24歳、当時日本人最年少F1ドライバードビュ。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙（比例代表）に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙（東海ブロック比例代表）に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙に自民党比例代表で2期目に立候補するも落選し現在に至る。英語、スペイン語を話すマルチリンガル。



1年前、落選した翌朝から豊橋駅に立ち続けています。氷点下の冬も、35℃を超える夏も皆さんのお陰で乗り越えることができました。



交差点にも立ちながら、皆様へご挨拶。街頭演説も行い、皆様へお話をさせていただいています。車の中からも手をふり返して下さるとよく見えています。有り難いです。



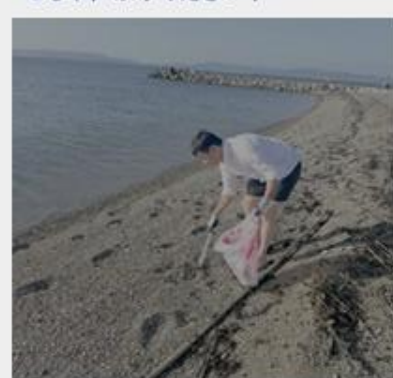
ミニ集会を開催させていただいています。皆さんと近い距離で色々意見交換できるので、これからも開催していきます。少人数でも大丈夫ですので、ぜひお声がけください！



情報発信を強化しようと決め、この「山本左近ニュース」を月一から週一へ変えました。駅頭で配るたびに、「楽しみにしてる」「勉強になった」などお声かけいただき励みになっています。



様々な農業の現場視察。写真は品種改良を行なっているイノチオさんの施設を訪問。気候変動による暑さはお花にとっても大きな課題。再生産可能な価格で持続可能な農業の実現に取り組みます。



高校生が主催する、白谷海浜公園のビーチにてプラスチックゴミを拾うスマイルビーチクリーン活動に参加。若い世代が社会課題へ意識を持ち行動している姿から刺激をもらいます。



豊橋のんほいパーク内にある私が監修したのんほいサーキットにて、第一回サコンカップを開催しました。多くの皆様にモータースポーツに触れていただき、楽しんでいただけました。第二回目も企画します。



国政報告会を、豊橋、田原の二会場で開催させていただきました。「何を指すのか」「何を実現していきたいと考えているのか」をお話しさせていただきました。日本を再び世界一の国へ



7月には豊橋で初めての住民投票が参議院選挙と併せて実施されました。アリーナ建設の賛否を問うものでしたが、結果として賛成多数となり、事業継続となりました。豊橋公園東側エリアが大きく変わること、街中の活性化につながります。

JAPAN as No.1 Again!